

「子供の森」計画

in インドネシア



「子供の森」計画積極展開地域：スマトラ島、ジャワ島、東部諸島



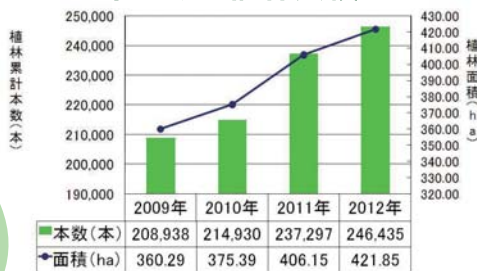
2012年の活動と2013年の展望

子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。人口の増加や工業化等に伴う森林伐採や大気汚染などさまざまな環境問題が深刻になっているインドネシアでは、政府機関等とも連携しながら、子どもたちへの環境教育や地域ぐるみの植林活動を積極的に展開しています。校庭での生ゴミからの堆肥づくりや、それを活用した苗木・野菜づくりのプログラムは、人の生活と自然とのつながりを学ぶ機会としてとても評判が高く、多くの学校から参加要望の声があがっています。また海岸に近い地域の学校では、地球温暖化に起因する海面上昇などに

より陸地が浸食されてしまっている地域にマングローブを植える活動に力を入れています。子どもたちは「子供の森」計画を通じて、木を植え育て、またさまざまな自然と人の関わりを学ぶことで、責任感をもって物事を行ったり、自分の周りの環境にも気を配れるようになるなど、大きな成長がみられます。これからもさらに多くの地域でこの「子供の森」計画の活動を実施していくことができるよう、ご協力をお願いします。

2012年植林実績：植林 **9,138** 本・面積 **15.7** ha
「子供の森」計画参加学校数：300 校（1993年からの累計値）

2012年までの植林実績



インドネシア

- ◆人口：241.03百万人
(2012年IMF推計値 日本は127.896百万人)
- ◆面積：1,910,931km²
(総務省統計局資料2010年値 日本は377,950km²)
- ◆一人当たりGDP：3,511.799US\$
(2012年10月IMF試算値 日本は45,869.72US\$)
- ◆森林率：52%
(2010年FAO公表値 日本は69%)

インドネシアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

ベルマークや書き損じはがきも募集しています。
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

「子供の森」計画情報提供サイト
www.kodomonono-mori.info



事務局



〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎(03)3322-5161 ☎(03)3324-7111
<http://www.oisca.org/>

E-mail oisca@oisca.org



学校教育に組み込まれた「子供の森」計画

スカブミ・インターナショナル・スタンダード中学校は2012年に開校したばかりの新しい学校で、生徒の数も16人と少ないのですが、開校と同時に「子供の森」計画に仲間入りしました。毎週月曜日の環境教育のクラスを活動日として積極的に活動しています。

活動の中で子どもたちは校庭の土に堆肥を混ぜ、三種類の苗木を植え、実が収穫できるまでの成長過程を比較しました。その結果、パパイヤの木が一番早く成長し、実も収穫できることが分かりました。そこで、子どもたちは、早速校庭内で植樹できる場所を話し合い、パパイヤの苗木を植えていくことにしました。



校庭の空きスペースにパパイヤを植え収穫を楽しむ子どもたち

この学校での「子供の森」計画の活動は、英語や数学のように一つの科目として学校教育に組み込まれており、子どもたちの活動には成績もつけられます。しかし、子どもたちは自分たちが考え、行動し、そして木を育てることのできる「子供の森」計画に楽しんで参加しています。



3種類の苗木を植え成長の様子を調査しました



同じ思いの仲間に出会えたエコキャンプ

2012年6月20、21日にインドネシアのダマック県でエコキャンプが行われました。参加したのは9つの小学校、2つの中学校の子どもたち合せて106人。

開会式の後、環境問題や生物多様性についての講義や、ネイチャーゲーム、演劇、絵画コンテストなど、様々なプログラムを通じて、環境保護の活動の重要性などについて学びました。

沿岸部や農村地域など様々な地域から参加した子どもたち。お互いのふるさとの環境の違いやそれぞれがかかえる環境問題についても学ぶよい機会となったようです。特にマングローブ植林プロジェクトが行われているベドノ村の子どもたちの沿岸部での植林の話は海に面していない地域に住む子どもたちにはとても新鮮だったようで、いつかベドノ村に行ってマングローブについてもっと知りた

いという声も上がりました。

たった二日間のキャンプでしたが、環境に対する思いを共有する友達にもめぐりあえ、「子供の森」計画の活動への思いを新たにすよい機会になったようです。



活動を通して違う地域の子どもたちもすっかり仲良くなりました



それぞれの地域の活動の様子を発表しました

TOPICS

グリーティングカード

毎年12月になると「子供の森」計画に参加している子どもたちは、日本の支援者の方々に送るグリーティングカードを作ります。ケドゥングムル第一小学校ではグリーティングカード・コンテストが開かれ、子どもたちのカード作りにも力が入りました。カードを作りながら、「ありがとう」ってどう書くの?」「日本の国旗は?」などと日本についての質問も投げかけられます。子どもたちにとってグリーティングカードを書くことは、遠い日本を少し近くに感じられる大切な機会でもあるのです。



子どもたちが作ったグリーティングカード

子どもたちの活動の様子や国情報の一部を紹介しています。

他のレポートや地域の情報はホームページをご覧ください。



OISCA CFP

検索